

(様式第2号)

協働推進モデル事業計画書

※記載が複数ページにわたっても良いので、できるだけわかりやすく具体的に記載してください。ただし、この企画書はA4サイズ4ページ以内で作成してください。

提案団体名	団体名	特定非営利活動法人おかまエネルギーの未来を考える会 担当者(廣本 悦子)			
	合同提案団体 (*協議体・実行委員会等で提案される場合は構成団体をすべて記載してください。)				
協働する岡山市の 担当課等と担当者	課名	中央公民館		電話	086-272-7886
	担当 2名	職名	館長	職名	主任
		氏名	片岡 延之	氏名	重森 しおり
協働する岡山市の 担当課等と担当者	課名	環境保全課		電話	086-803-1282
	担当 2名	職名	地球温暖化対策室長	職名	副主査
		氏名	山本 耕平	氏名	出井 要
提案事業の名称	公民館への太陽光発電の設置と環境学習による持続可能な社会の推進事業				
提案事業の目的	<p>地球温暖化は年を追って深刻化しており、異常気象等による影響が目に見える形で表れるようになりました。未来世代に大きな脅威をもたらす事態となっています。</p> <p>そのため、昨年のCOP21(気候変動枠組条約第21回締約国会議)では「パリ協定」が合意され、地球の平均気温を産業革命前から2度(1.5度)に留めることが採択されました。これによって、今世紀後半には二酸化炭素ゼロ社会を実現することが世界中の約束となっています。これを達成するには自然エネルギーによる低炭素社会を構築することが最重要となっています。</p> <p>一刻も早くこれを進めるには岡山市域でも自然エネルギーを最大限導入して二酸化炭素の排出をゼロにすることが求められます。しかし、地球温暖化問題に関する市民の関心はあまり高まっていない現状があり、理解促進のために、岡山市と当法人が連携して地域コミュニティの拠点である公民館に「晴れの国岡山」にふさわしい太陽光発電による市民共同発電所を設置、あわせて地球温暖化防止や二酸化炭素ゼロ社会を構築するための環境教育を実施します。</p> <p>さらに地域の人たちが主体となって課題解決に取り組んでいくことのできるしくみ・体制づくりを支援していきます。</p>				
解決をはかりたい課題の緊急性・重要性等(市民ニーズ含む) ※ニーズ把握等で行った調査資料等がある場合は添付してください。	<p>1. 解決をはかりたい課題と現状</p> <ul style="list-style-type: none">地球温暖化対策の重要性については一般的な理解は進んでいますが、対策の効果が実感できないことから、市民の取り組みがなかなか広がっていません。身近な省エネや自然エネルギー対策だけでなく、私たちの消費行動をはじめとする通常の社会経済活動が世界の温暖化の進行に大きな影響を与えていることについても理解が進んでいません。一方で、中学校区に配置されている岡山市の公民館は、地域の社会教育の拠点として多くの市民に利用されており、また、それぞれ特色を生かしたESD・環境教育に取り組んでいます。当法人では小学校での出前授業等は毎年、数か所で実施していますが、温暖化問題は喫緊の課題であり、こどもたちよりも私たち大人世代が早急に行動を起こす責任があると考えています。それを実施するための拠点としては公民館が最適で、公民館を利用する人たちに現状を知ってもらい、個人で、また地域でどう取り組んでいくかを協議していきたいと考えています。 <p>2. 市民ニーズ</p> <p>異常気象など、身近な環境の異変に気付いている方は多いと思いますが、どうしていいかわからないのか情報が</p>				

	<p>十分に伝えられてなく、自分ごととしての判断に戸惑われているものと思われます。</p> <p>3. 課題解決の方策</p> <p>①幅広い世代への環境教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化防止の効果ある対策を進めるためには、私たち大人世代が率先して行動することが重要であり、そのための環境教育に努めます。 公民館や地球温暖化対策室との協議に基づき、太陽光発電所を設置し、表示器による自然エネルギーの必要性を「見える化」することで、それをシンボルとして各種講座はもとより、「緑のカーテン」や資源リサイクル等の多面的な環境活動を公民館全体で取り組む環境学習拠点として位置づけ、環境教育の取り組み強化を図ります。 合わせて、すでに各公民館がそれぞれの特性に応じて取り組んでいる消費生活や国際理解、健康、生物多様性等の地球温暖化対策との関連が深い学びとの関連付けを強化することにより、各公民館におけるESD活動の推進を図ります。 <p>さらに地域の人たちが主体となって課題解決に取り組んでいくことのできるしくみ・体制づくりを支援していきます。</p> <p>②市民共同発電所の設置</p> <p>これまで自治体との連携で公共施設に8基(140kW)の市民共同発電所を設置してきた当法人の経験を基に、生涯学習の場である公民館に太陽光発電所を設置します。</p> <p>設置にかかる費用は、幅広い市民からの寄付や市民ファンド、銀行融資などの方法を検討して調達し、発電した電気は電力会社に売電します。売電収入から返済金や維持管理のための必要経費を除き、余剰収益は地域への環境教育に還元します。</p> <p>また、災害等で電力会社からの電気の供給が途絶えた折には、非常用電源として電力を地域のみなさまに提供し、地域貢献にも役立てたいと考えています。</p>
<p>協働の必要性 及び効果と目標 (協働の役割分担を含む)</p>	<p>1. 協働の必要性と相乗効果</p> <p>地球温暖化防止に取り組み、市民に啓蒙することは岡山市の施策であり、地域ぐるみでの環境教育を進めるとともに、「晴れの国岡山」にふさわしい資源である太陽光発電を当法人と連携して公共施設に導入していくことで、直接、市域の二酸化炭素を削減でき、地域に住む人々に真に持続可能な地域づくりを進めていくための情報提供ができます。</p> <p>2. 提案団体が果たす役割</p> <p>地域で温暖化防止に関する環境教育を進めるとともに公共施設に太陽光発電所を設置することで自然エネルギーの導入拡大に貢献し、住民が二酸化炭素ゼロ社会に取り組むきっかけを作ることができます。</p> <p>3. 岡山市の担当課等が果たす役割</p> <ul style="list-style-type: none"> 公民館は太陽光発電所設置のための屋根や環境教育の実施場所を提供。環境教育の内容を当法人とともに検討し、持続可能な暮らし方を地域へ提案します。 地球温暖化対策室は公民館、当法人の調整役を担います。 岡山市の施策として再生可能エネルギーの一層の普及促進を図ります。 <p>4. 期待する事業成果・目標値等</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境教育等を広げることで人々の温暖化問題や低炭素社会への意識が変わり、地域のエネルギー資源の再発見や、自主的な二酸化炭素ゼロの地域づくりを進めてもらうことができるようになること。 太陽光発電の設置数を増加させることで自然エネルギーの導入拡大と市域の二酸化炭素削減が図られること。 太陽光発電の電力を災害時に非常用電源として活用することで地域防災の役に立つこと。

<p>事業の内容</p>	<p><環境教育講座の実施と組織づくり></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館と協議し、地球温暖化問題の現状やその解決方法として自然エネルギーの普及、省エネなどに関するプログラムを作成、講座を実施します。 <p><地域協働発電所づくり></p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物への設置が可能でかつ環境教育（ESD事業）を積極的に取り組もうとしている公民館3館（芳田・岡西公民館他1館を予定）の屋根に太陽光パネルを設置し、地域協働の太陽光発電所を運営します。 ・地域の主だった方々に事業を説明し、地域の発電所としての理解を広げます。 ・設置後は15年をめどに売電収入からの設置費用回収を目指し、持続可能な自主運営発電所として行きます。 ・初期費用は、当法人が民間金融機関からの借入金を中心に、可能な限り地域からの寄付金を募集するなど、地域住民の参画を進める方法で資金の確保をします。 ・発電所の運営とともに、幅広く環境問題に取り組む地域の主体的な人づくり、組織づくりを支援します。 												
<p>事業の実施体制</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 総括責任者 おかやまエネルギーの未来を考える会 会長 廣本 悦子 2. 個別事業責任者 <ul style="list-style-type: none"> ・地域協働発電所設置責任者 堤 孝雄 ・環境教育実施責任者 福田 信一 3. 事業実施にあたっての専門性やノウハウ <ul style="list-style-type: none"> ・これまで公共施設に8基の市民共同発電所を設置し、維持管理をしている経験を活かし、設置に関する設計書・仕様書、キャッシュフロー等を作成。工事を施工。 ・小学校へへの出前授業、大人向けの講座、エコツアー、イベントへの出展、県委託の新エネルギー導入推進協議会の事務局担当などの経験を活かし、公民館で実施するプログラムを企画・運営。 												
<p>事業スケジュール</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>実施事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・当法人、中央公民館、当該公民館、環境保全課と打ち合わせ ・岡輝公民館・岡西公民館と個別に打ち合わせ、大筋の日程を確認 <p>*以下、1館は決まり次第、打合せと事業開始</p> </td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・事業を希望する公民館の現地調査 ・当該公民館から地域の状況をヒアリングし、地域への呼びかけ方法を検討 ・太陽光発電所の実施計画書、設計図、仕様書の作成 ・中国経済産業局へ設備認定 ・キャッシュフロー図の作成 ・資金の調達方法を協議、決定 </td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・岡輝・フリーマーケットに当法人も出展 ・岡輝・岡西とも運営委員会で事業説明、承認を得る ・おひさま発電プロジェクト基金のチラシ作成、印刷 ・公民館と協議して環境教育プログラムの企画・作成 ・中国電力へ申請 1～2か月を要す </td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回講座 キックオフイベント 「地球温暖化と自然エネルギー(仮称)」を各館ごとに開催 </td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・岡西公民館、第2回、再生可能エネルギー・当会の活動紹介講座(8/9) ・岡西公民館で当法人・公民館・環境保全課・業者による現場説明会 </td> </tr> </tbody> </table>	月	実施事業内容	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・当法人、中央公民館、当該公民館、環境保全課と打ち合わせ ・岡輝公民館・岡西公民館と個別に打ち合わせ、大筋の日程を確認 <p>*以下、1館は決まり次第、打合せと事業開始</p>	5月	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を希望する公民館の現地調査 ・当該公民館から地域の状況をヒアリングし、地域への呼びかけ方法を検討 ・太陽光発電所の実施計画書、設計図、仕様書の作成 ・中国経済産業局へ設備認定 ・キャッシュフロー図の作成 ・資金の調達方法を協議、決定 	6月	<ul style="list-style-type: none"> ・岡輝・フリーマーケットに当法人も出展 ・岡輝・岡西とも運営委員会で事業説明、承認を得る ・おひさま発電プロジェクト基金のチラシ作成、印刷 ・公民館と協議して環境教育プログラムの企画・作成 ・中国電力へ申請 1～2か月を要す 	7月	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回講座 キックオフイベント 「地球温暖化と自然エネルギー(仮称)」を各館ごとに開催 	8月	<ul style="list-style-type: none"> ・岡西公民館、第2回、再生可能エネルギー・当会の活動紹介講座(8/9) ・岡西公民館で当法人・公民館・環境保全課・業者による現場説明会
月	実施事業内容												
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・当法人、中央公民館、当該公民館、環境保全課と打ち合わせ ・岡輝公民館・岡西公民館と個別に打ち合わせ、大筋の日程を確認 <p>*以下、1館は決まり次第、打合せと事業開始</p>												
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を希望する公民館の現地調査 ・当該公民館から地域の状況をヒアリングし、地域への呼びかけ方法を検討 ・太陽光発電所の実施計画書、設計図、仕様書の作成 ・中国経済産業局へ設備認定 ・キャッシュフロー図の作成 ・資金の調達方法を協議、決定 												
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・岡輝・フリーマーケットに当法人も出展 ・岡輝・岡西とも運営委員会で事業説明、承認を得る ・おひさま発電プロジェクト基金のチラシ作成、印刷 ・公民館と協議して環境教育プログラムの企画・作成 ・中国電力へ申請 1～2か月を要す 												
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回講座 キックオフイベント 「地球温暖化と自然エネルギー(仮称)」を各館ごとに開催 												
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・岡西公民館、第2回、再生可能エネルギー・当会の活動紹介講座(8/9) ・岡西公民館で当法人・公民館・環境保全課・業者による現場説明会 												

	9月	<ul style="list-style-type: none"> ・岡輝公民館、第2回講座 西粟倉村へ「自然エネルギー先進地見学」 ・岡西公民館、第3回講座 西粟倉村へ「自然エネルギー先進地見学」 ・岡輝公民館で公民館・環境保全課・業者による現場説明会 実施 ・岡西公民館で、連休中を中心に設置工事スタート
	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・岡輝公民館、第3回講座 見学会を終えて振り返り講座 ・岡西公民館、第4回まとめの講座（ワークショップ）その後、点灯式(10/11)
	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・岡輝公民館 設置工事スタート ・公民館まつりの初日に点灯式 (11/19)
	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・岡輝公民館 第4回講座 世界規模の環境問題を考え、住民の意識を高める講座
	1月	3館合同の振り返り会議、今後に向けて
	2月	報告書作成
実施するうえで連携が必要と思われる団体と期待される役割	名称	期待される役割
	公益財団法人水島地域環境再生財団	フードマイレージの講座講師
	認定NPO法人気候ネットワーク	記念講演講師、地球環境問題・エネルギー問題の最新情報提供
事業の展望及び今後の活動展開	<input type="checkbox"/> NPOがネットワークを構築し、他団体と連携し実施することを目指す。 <input type="checkbox"/> 岡山市の一般施策としていくことを期待する。 <input type="checkbox"/> 次年度以後も協働での実施を希望。 <input type="checkbox"/> その他(引き続き、地域が課題解決を進められるようなしくみ・体制づくりを支援します。)	
	具体的な目標（計画）があれば記載してください。	

(様式第3号)

協働事業収支予算書

提案事業名	公民館への太陽光発電の設置と環境学習による持続可能な社会の推進事業
-------	-----------------------------------

<収入>

費目		金額	内訳
自己資金等	申請団体 自己資金	162,000	
	合同提案団体 負担金等		
自己資金等合計(a)		162,000	
事業収入見込	売電収入 3基分	200,000	(12月～3月まで冬場の4か月間)×60%×50kWとして計算
事業収入見込合計(b)		200,000	
岡山市補助金申請額(c)		1,446,000	
収入合計(d) = (a) + (b) + (c)		1,808,000	

<支出>

費目		金額	内訳
事業実施経費	人件費	929,000	当法人スタッフ
	報償費	90,000	記念講演講師、講座の外部講師
	旅費・交通費	194,000	スタッフ、講師
	消耗品費	35,000	事務消耗品費等
	食糧費	20,000	会議の茶菓等
	印刷代	150,000	寄付金募集チラシ、報告書作成等
	賃借料	360,000	先進地視察のバス借料(公民館合同)
事業実施経費合計(e)		1,778,000	
管理運営経費	管理費	30,000	電話代・郵送料等
管理運営経費合計(f)		30,000	
総事業費(g) = (e) + (f)		1,808,000	※収入合計(d)と同額

なお、発電所のハード整備に関しては補助対象外事業費として50kW規模システム3基の初期費用として、1,535,000円を法人より支出する予定です。当該経費は寄付金、銀行融資等で確保し、借入分については15年程度での売電収入で返済する予定です。

- (添付書類等)
1. 人件費等については、積算の根拠（これまでの実績や独自の単価表）を添付すること
 2. 参加料などの事業収入を見込む場合は「事業収入見込」欄に計上すること